

はじめに。

近年、ジャーが、既製服および家庭縫製の素材として大量につかわれているが、その問題点の一つに、ラン発生がある。そこでシングルのよこ編ジャーのラダリングの過程についてしらべた。

方法

平編と $\frac{1}{4}$ ゴム編8種のジャーについて、①試幅5cm、試長2cmとして、引張り試験器にかけ、中央部の糸一ヶ所を切断後、荷重を加えて伸長し、ラン発生過程を写真撮影により考察をした。また、⑤試幅7cm、試長2cmの中央部に6cmの切り込みを入れ、切り込み先端部が引張りの中央になるようにチャックでつかみ、引張り試験を行ない、荷重伸長曲線の記録から、ラン発生の状態を考察した。

結果

ラン発生のしやすさは、糸の材質、糸密度よりも、編組織の方が関係し、平編よりも、 $\frac{1}{4}$ ゴム編の方か、いずれもラン発生の抵抗が大きい傾向である。また試験方法としては、④、⑥の対応がよく見られ、⑤法の方が記録紙上にラン発生時の変化がよく示されるため、⑤法による試験法はラダリングを調べる上で適当であると思われる。